

第34回全国豊かな海づくり大会 奈良大会（仮称） 基本構想（案）

1 開催意義

【奈良県の自然と内水面漁業】

奈良県は、紀伊半島の中央部に位置する内陸県で、吉野川に沿って走る中央構造線により、北部低地と南部吉野山地とに大別できます。北部低地は、東側を占める大和高原と宇陀山地、および西側を占める奈良盆地からなり、南部吉野山地は、県土面積の約2/3を占める森林地帯です。

奈良県の川は、奈良盆地の東南隅より流出する大和川水系の初瀬川を主流として、四周の河川を合し大阪湾に注ぐ大和川、東部高原地帯から木津川を経て淀川に注ぐ淀川水系の名張川、大台ヶ原から県中央部を西流し和歌山県を経て紀伊水道に注ぐ紀ノ川水系の吉野川、および南部山岳地帯を南流し熊野灘に注ぐ新宮川水系の熊野川、北山川などに大別できます。

これらの水系の川やダム湖では、アユ、アマゴ、コイ、フナ、ウナギなどの内水面漁業が行われています。また、食用魚のアマゴの養殖以外に、キングヨ、ニシキゴイなどの観賞魚の養殖も盛んです。

県では、奈良県のさかなとして「キングヨ」「アユ」「アマゴ」の3魚種を制定しています。

【山・川・海の健全な水循環の形成】

南部吉野山地の森林地帯で蓄えられた豊かで清らかな水は、川の流れとなり県下全域を潤し、水産資源だけでなく、県民の飲料水や農業用水として、豊かな恵みを与えています。

さらに、これらの清流は、県境を越えて海に注ぎ、多様な命を育んでいます。

海のない本県での大会開催は、山や川に光を当て、健全な水循環の大切さを心に刻み、山、川、海の自然の恵みを未来に引き継ぐ契機になるものです。

また、豊かな川の恵みを受けた水産資源の維持培養と内水面漁業の振興につながるものです。

【奈良県南部地域の振興】

本県での大会開催は、山や川の豊かな恵み、魅力ある歴史的資源等が豊富に存在する南部地域に光を当て、その振興を図るとともに、紀伊半島大水害からの復旧・復興につながるものです。

2 基本理念

「山は川を育み、川は海を育む ～山・川・海の自然の恵みを未来に～」

豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐため、健全な水循環の形成を目指します。

3 基本方針

（1）山・川・海の健全な水循環の形成

県民1人ひとりが、水を蓄え、育み、水に愛着をもって守りながら使うなどの健全な水循環を意識したライフスタイルの形成に向け、山・川・海の健全な水循環の大切さを認識し、豊かな山、川を守り、育てていく気持ちを次世代に伝える大会とします。

（2）川の恵みを活かした内水面漁業の振興

山や川の大切さを認識し、その恵みを受ける水産動植物の生息・生育環境の保全や改善を図るとともに内水面漁業の振興につながる大会とします。

- (3) 南部地域の振興と「紀伊半島大水害」からの復旧・復興
山や川の豊かな恵み、魅力ある歴史的資源等を活かした南部地域の振興を図ります。
また、紀伊半島大水害で被災された地域の復旧・復興につながる大会とします。
- (4) 奈良の魅力発信と奈良ならではの心のこもった大会の開催
奈良には、吉野熊野国立公園などの素晴らしい「自然」、記紀・万葉にも記される数多くの貴重な「歴史・文化遺産」をはじめ、大和野菜などの奈良らしい「食」など、全国に誇れるものが豊富にあります。
地元市町村、関係団体等との協働・連携により、これら「奈良の魅力」を全国に発信するとともに、奈良ならではの心のこもったおもてなしのできる大会とします。

4 大会の概要

- (1) 名称 第34回全国豊かな海づくり大会 奈良大会（仮称）
- (2) 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第34回全国豊かな海づくり大会奈良県実行委員会
- (3) 後援 農林水産省（申請予定） 環境省（申請予定）
- (4) 開催期日 平成26年秋頃（申請予定）
- (5) 開催場所 式典行事……………
放流行事……………
歓迎レセプション…………… } （別途検討）
- (6) 開催規模 参加者数 約…千人
- (7) 行事内容

① 式典行事

サテライト会場と中継を結び、資源管理、漁場環境、水環境保全などに功績のあった団体の表彰、最優秀作文の発表、大会決議などを行い、さらなる水産資源の維持培養、河川の環境保全に取り組むことを全国に向けてアピールする内容とします。

② 放流・歓迎行事

水産資源の維持培養に対する認識を深めるとともに、豊かな川の恵みに感謝して、県内棲息魚類による放流行事を行うとともに、水産関係者、林業関係者、地元関係者等の協力を得て、南部地域の文化・資源等の魅力をアピールする歓迎行事を行います。

③ 関連行事

式典行事や放流・歓迎行事におけるスクリーン放映、演舞・演奏などのステージイベント、写真・絵画・習字のコンクール応募作品の企画展示、金魚すくいなどの体験コーナー、南部特産品などの物産販売を通じ、県内外の参加者に、本県の特産品や文化などの魅力を効果的にPRします。

④ 歓迎レセプション（前日）

大会関係者を招待して歓迎レセプションを行い、本県の地域特産物を食材として豊富に使ったおもてなしをします。

(8) 大会テーマ

公募により決定します。

(9) 大会キャラクター

奈良県マスコットキャラクター「せんとくん」を活用します。